



## 東 史人（ひがし ふみひと）

Fumihiro Higashi

### 主任研究員

#### 専門分野

保健福祉政策、行政評価、自治体経営

#### 資格

- 第二種情報処理技術者（旧通商産業省）

#### 経歴

2025年4月 - 現在

富士通株式会社、パブリック事業本部パブリックコンサルティング事業部公共政策研究センター、主任研究員

2025年4月

富士通株式会社 転籍

2020年4月

株式会社富士通総研公共政策研究センター 兼務

2009年1月

富士通株式会社に復職、株式会社富士通総研へ出向（公共コンサルティング事業部（現：行政経営グループ）配属）

2006年8月

厚生労働省へ出向

1997年6月

株式会社富士通総研へ出向（コンサル事業部公共グループ（現：行政経営グループ）配属）

1997年4月

富士通株式会社 入社

1997年3月

東京大学経済学部経済学科卒業

## **最近の研究テーマ**

- 保健福祉政策
- 行政評価・自治体経営

## **著書**

- 「特定健康診査・特定保健指導の円滑な実施に向けた手引き」2007年9月、法研

## **論考**

- 「幼児教育・保育の無償化に伴う保育の質の確保に向けて」『政策研究（2019年8月号）』2019年8月、新・地方自治フォーラム
- 「地域における認知症サポート医の活躍に向けて」『政策研究（2017年7月号）』2017年7月、新・地方自治フォーラム
- 「認知症になっても暮らし続けられる地域づくりに向けて」『地方財務（2017年7月号）』2017年7月、ぎょうせい
- 「認知症の人への循環型の医療介護等の提供に向けて」『政策研究（2016年7月号）』2016年7月、新・地方自治フォーラム
- 「愛知県小牧市における在宅医療の推進」『政策研究（2015年5月号）』2015年5月、新・地方自治フォーラム
- 「「行動・心理症状等が増悪した認知症の人の在宅支援のあり方」の報告書まとまる」『Nursing BUSINESS（2014 vol.8 no.9）』2014年7月、メディカ出版
- 「医療・健康情報（EHR）の普及展開に向けて」『政策研究（2013年10月号）』2013年10月、新・地方自治フォーラム
- 「今後のヘルスケアサービスの基盤となる EHR の普及展開に向けて」『知創の杜（2013年6月号）』2013年6月、富士通総研

## 講義・講演等

- 「人生の最終段階の療養場所の選定における意思決定の実態調査～見えてきた意思決定支援における課題と対応～」2022年3月、静岡県医師会『令和3年度在宅医療・介護連携に係る都市医師会・市町行政連絡協議会』
- 「事業マネジメントの基本的考え方・進め方」2021年2月、香川県『令和2年度在宅医療・介護連携に関する市町研修会』
- 「文教分野における市場の展望とソリューション戦略」2006年2月、日本マイクロソフト ISU
- 「自治体システムのオープン化への対応について」2005年11月、全国広域市町村圏情報管理連絡協議会東日本ブロック会議
- 「市町村合併に伴うIT統合ビジネスの展開」2003年6月、新社会システム総合研究所『ブロードバンド&グローバル戦略特別セミナー』
- 「e-Japan 計画と現状」2002年11月、慶應義塾大学 Media Com メディア特殊講義
- 「情報通信基盤の地域格差解消に向けて」2002年11月、福島県ブロードバンド構想に関する座談会(福島県情報化推進アドバイザー会議)